

小学部経営方針

ア 重点目標

- (ア) 日常生活に必要な基礎学力を身に付け、自分で考えたり表現したりすることができる力を育てる。
- (イ) 仕事や社会へ憧れの気持ちを持ち、将来の自立と社会参加に向けた基礎的な力を育てる。
- (ウ) 地域の方々や同世代の友達等とかかわり合いながら楽しく生活することができる力を養う。

イ 具体的な取り組み

- (ア) 気付きを促し、自ら学習に取り組む意欲や態度を育むために、学習内容と個に応じた支援方法を工夫する。また、児童の学びを深めるためのＩＣＴ活用と活用方法を工夫する。
- (イ) 社会の仕組みを知り、自分の役割を果たす喜びを味わうことができるよう、地域の資源を生かした体験学習を行う。
- (ウ) 友だちや教師、地域の方と双方向のやりとりができるよう、楽しくふれ合う場面を設定する。

ウ 特色ある授業の実施

(ア) 地域資源を生かした体験学習

学校のある地域の資源を生かした体験学習をととして児童と学校と地域が一体となり、地域の社会の仕組みを知り理解を深めるとともに、体験学習での地域の人とかかわりをととして、自分の役割に気付き、役割を果たす喜びを味わえるようにする。また、「知りたい・やってみたい・もっとやりたい」という自ら学習に取り組む意欲や主体的に考え行動しようとする気持ちや姿勢を身に付けられるようにする。

(イ) みんなで読書

週１時間、図書室での学習を実施する。興味のある本を自分で選んだり読み聞かせを聞いたりすることで、本への関心を広げ、想像力や言葉での表現を豊かにする。

(ウ) 算数がんばりタイム

一人ひとりの課題に応じた算数の学習を単元の学習と関連させながら毎日取り組むことで数についての基礎的な力を身に付ける。

(エ) さくらタイム

週１時間の特別活動では、異なった年齢集団でのグループ活動をととして、人とかかわる力や主体性を育てる。

(オ) 交流学习

居住地校交流や学校間交流、地域交流等の内容を工夫し積極的に参加することで、同年齢または異年齢の人たちとたくさんかかわり、楽しみながら人とかかわる力を養う。